



平成26年1月24日

尾張旭市長 水野義則 殿

尾張旭市特別職報酬等審議会

会長 伊藤雅



議員報酬の額並びに市長及び副市長の給料の額について（答申）

平成25年11月7日に当審議会に諮問があった議員報酬の額並びに市長及び副市長の給料の額について、公平、中立の立場において各委員が率直かつ慎重に審議をした結果、別記のとおり答申します。



## 別記

本審議会は、市長より議員報酬の額並びに市長及び副市長の給料の額について諮問を受け、各委員は、平成25年11月7日から2回にわたって、市民各層の代表であることを深く認識し、公平、中立の立場を堅持し、忌憚のない意見交換により審議を行った。

審議は、企業収益や雇用情勢の改善、地域の消費者物価指数の上昇など景気は回復しつつある中で、以下の論点を中心に進められた。

### (1) 人事院の給与等に関する報告の状況

平成25年人事院給与報告において、国家公務員の俸給月額については据え置き報告がなされた。

### (2) 一般職の給与改定状況

本市の一般職の給料は、人事院給与報告に準じて据え置くこととなっている。

### (3) 経済情勢

経済情勢は、各種政策の効果の発現により景気が緩やかに回復しつつあるが、市民生活への実感が伴っていない。

### (4) 財政状況

本市の財政指標は県内で比較するとやや下位となるものの、集中改革プランや土地開発公社経営健全化の推進により、全国的には上位に位置する。

### (5) 特別職の職責

特別職は、子育て支援や高齢者対策に積極的に取り組んでおり、議会においては定数よりも少ない人数で活動している。

### (6) 報酬等の水準

県内各市と比較すると、本市の報酬等は平均よりもやや低い水準にある。

上記のことを総合的に勘案した上で、特別職の報酬等の額について、検討を行った。

審議会としては、経済政策等により経済情勢は回復しつつあるが、市民生活においては世帯所得の改善に至っておらず、また、既に一般職の給料が人事院による給与等に関する報告に準じて据え置きとなっていることから、リーダーである特別職の報酬等の額は、一般職に準じた据え置きが適当であるとの結論に至った。

また、審議過程において、特別職は職責を果たすために努力しており、昨今の経済情勢や特別職の報酬等の額が地域の給与水準に与える影響を踏まえると、引き上げるべきとの意見もあったが、上述した市民生活の実態から時期尚早と判断した。

最後に、今回は据え置きの答申であるが、市議会議員並びに市長及び副市長におかれては、市政運営のリーダーとして、さらなる行財政運営の健全化と魅力ある元気なまちづくりに取り組まれることを強く期待するものである。

